

浜岡原子力発電所 1号機 原子炉建家内で確認された漏えい物について

平成 21 年 4 月 9 日

発生号機	1号機(廃止措置計画策定中)
発生年月日	平成21年4月8日
発生時の状況	<p>午後2時25分頃、巡視点検を実施していた委託運転員が、原子炉建家地下2階(管理区域内)の廃液中和タンク(※1)(A)上部およびその付近において、一部堆積した漏えい物(合計約3,600cm³)を発見しました。</p> <p>現場の状況を確認し、漏えいが継続していないことを確認しました。</p> <p>また、当該漏えい物は既に乾燥しており、漏えいが確認された部屋は、漏えいの拡大を防止するための堰が設置されていることから、漏えいが拡大する恐れはありません。</p> <p>漏えい物の放射エネルギーは、分析の結果、270万ベクレルでした。</p> <p>なお、当該漏えい物は堰の中にあるため、今回の事象は、国へ報告する事象には該当しません。</p>
原因	現在、調査中です。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。
お知らせ基準	<p>運転情報</p> <p>「表1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等から水の漏えいを発見したとき」に該当します。</p>

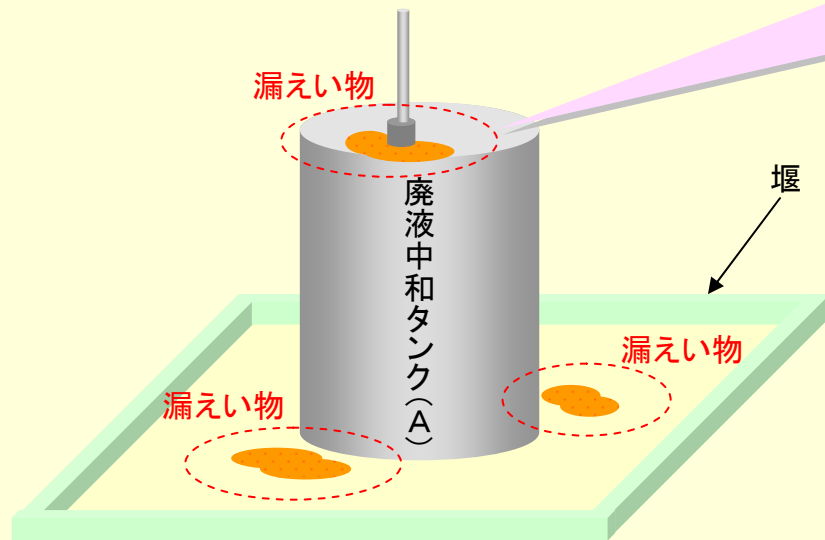
※1 廃液中和タンクは、液体廃棄物処理系で発生した化学薬品を含んだ廃液を中和させるためのタンクです。

なお、液体廃棄物処理系は、発電所の運転に伴って発生する液体状の放射性廃棄物を処理するための系統です。

以 上

廃液中和タンク（A）付近の漏えい物の状況

漏えい箇所のイメージ



廃液中和タンクは、液体廃棄物処理系(※)で発生した化学薬品を含んだ廃液を中和させるためのタンクです。

同タンク付近で、漏えい物が確認され、その総量は約3,600cm³でした。

※液体廃棄物処理系は、発電所の運転に伴って発生する液体状の放射性廃棄物を処理するための系統です。